

## 助産学専攻科 教育目標

- 1) 「至誠一貫」の理念を基に、対象や環境への温かい心と誠意を持ち、母子および家族や地域と、良好な信頼関係を基盤として、助産師としての機能を発揮することができる。
- 2) 女性の生涯を通じた性と生殖の健康を支援する上で、助産師として多様な価値観を尊重できる能力を養い、ライフステージ各期の健康問題に対応することができる。
- 3) ウィメンズヘルスにおける科学的根拠に基づく科学的思考により、適切な判断と実践ができる。
- 4) 地域での母子保健のニーズを的確に捉え、医療・保健・看護・福祉のチーム医療に貢献できる姿勢と能力を身につけることができる。
- 5) 日常生活を送る対象や乳幼児、家族を身体的・精神的・社会的に判断し、家族としての機能が十分に発揮できるような、コンサルテーション能力や技能を学び、教育や支援ができる。
- 6) 自学自習を基に、医療・科学の進歩に対応できる高度で最先端の能力と専門的助産実践能力(知識・技術・人間性)を身につけることができる。
- 7) 国際化する社会において、さまざまな文化を積極的に受け入れる柔軟性を持ち、助産師の専門性を追求しながら、国際的視点を身につける。
- 8) 助産師としてのアイデンティティを追求し、自律した専門職業人として、未来へ向けての助産学の発展をめざすと共に、実践能力の維持・向上のために自己啓発することができる。